

【別紙】 公表事項等一覧表（医療用医薬品/医療機器）

項目	自社のWebサイトに記載すべき事項
2. 1. 製造販売する品目の製造業者名	様式1のリンク先：
2. 2. 製造販売する品目の原薬に係る製造国、原薬の複数の購買先	様式1
2. 3. 共同開発られ承認取得した品目の共同開発先企業名	（最終更新年月日：2024年6月24日）
3. 1. 「安定供給体制等を指標とした情報提供項目に関する情報提供ページ」（厚生労働省ウェブサイト）における安定供給体制等に関する情報	様式2のリンク先： 様式2
3. 2. 「ジェネリック医薬品供給ガイドライン」に準拠した安定供給マニュアルの作成と運用	（最終更新年月日：2024年6月28日）
4. 後発品の安定供給のための予備対応力の確保の具体的対応方法	様式3のリンク先： 様式3-2 （最終更新年月日：2025年1月7日）
5. 製造販売する後発品の供給実績に係る具体的対応方法	様式4のリンク先： 様式4-2 （最終更新年月日：2025年1月7日）

【様式1】

更新日：2024年6月24日

製造販売する品目数
15

自社製造割合（任意）
13%

原薬の複数購買割合
33%

共同開発割合（任意）
60%

薬剤区分	薬価基準収載 医薬品コード	YJコード	製造販売業者	品名	規格	配合剤	製造形態 (委委託)	原薬の製造国			原薬の複数購買品目	製剤製造業者	共同開発情報	共同開発品目
注射薬	1149601A2062	1149601A2062	日本臓器製薬	ノイトロピン注射液3.6単位	3.6単位1管		①全て自社	日本				日本臓器製薬	単独開発	
注射薬	1149601A1031	1149601A1031	日本臓器製薬	ノイトロピン注射液1.2単位	1.2単位1管		①全て自社	日本				日本臓器製薬	単独開発	
内用薬	1149117F1012	1149117F1225	日本臓器製薬	トアラセット配合錠「日本臓器」	1錠	○	②全て委託	インド	スロバキア	日本/アメリカ	○	クオリティックファーマ	大原薬品工業（親）	○
内用薬	4490028R1066	4490028R1066	日本臓器製薬	レボセチリジン塩酸塩ドライシロップ0.1g			②全て委託	日本				陽進堂	陽進堂（親）	○
内用薬	3999016F2029	3999016F2029	日本臓器製薬	メトトレキサート錠1mg「日本臓器」	1mg1錠		②全て委託	中国				笠野興産	単独開発	
内用薬	3999016F1014	3999016F1081	日本臓器製薬	メトトレキサート錠2mg「日本臓器」	2mg1錠		②全て委託	中国				笠野興産	単独開発	
外用薬	1329707Q4016	1329707Q4032	日本臓器製薬	フルチカゾンプロピオン酸エステル点眼液1瓶			②全て委託	日本	イスラエル		○	日東メディック	単独開発	
外用薬	3339950R1169	3339950R1169	日本臓器製薬	ヘパリン類似物質外用泡状スプレー0.3g	1g		②全て委託	日本	イタリア		○	東亜薬品、シミックCMO	日東メディック（親）	○
外用薬	2649734N1011	2649734N1046	日本臓器製薬	ジクロフェナクNaクリーム1%「日本臓器」	1g		②全て委託	インド				祐徳薬品工業	帝國製薬（小分け元）	○
外用薬	2649734S1015	2649734S1120	日本臓器製薬	ジクロフェナクNaテープ15mg「日本臓器」	15mg1枚		②全て委託	インド				祐徳薬品工業	帝國製薬（小分け元）	○
外用薬	2649734S2127	2649734S2127	日本臓器製薬	ジクロフェナクNaテープ30mg「日本臓器」	30mg1枚		②全て委託	インド				祐徳薬品工業	帝國製薬（小分け元）	○
外用薬	2649734S3018	2649734S3069	日本臓器製薬	ジクロフェナクNaパップ70mg「日本臓器」	70mg1枚		②全て委託	台湾	日本	インド	○	東光薬品工業	東光薬品工業（親）	○
外用薬	2649734S4065	2649734S4065	日本臓器製薬	ジクロフェナクNaパップ140mg「日本臓器」	140mg1枚		②全て委託	台湾	日本	インド	○	東光薬品工業	東光薬品工業（親）	○
外用薬	2655709R1039	2655709R1039	日本臓器製薬	ケトコナゾール外用ポンプスプレー2%1g	1g		②全て委託	メキシコ				東光薬品工業	東光薬品工業（小分け元）	○
内用薬	4490025R1020	4490025R1020	日本臓器製薬	オロパタジン塩酸塩ドライシロップ1%1g	1g		②全て委託	日本				田村薬品工業	単独開発	

大項目	中項目	情報提供項目	回答				
			流通経路	卸経由			
製造管理及び品質管理・安定供給体制・リスクマネジメント	流通経路	流通経路 ・卸経由か、販社経由か、直販か	流通経路	卸経由			
			取引先	全国の卸38社			
	納品体制	卸業者が納期を指定する場合に、当該指定納期に配送する体制の整備	発送締切前であれば、原則、全て対応しています。				
	適正在庫の確保	品切れ品目数	品切れ品目数（過去一年間）	3品目（2024年3月31日現在）			
		平均社内在庫・流通在庫	社内在庫、流通在庫の合計	平均4ヶ月以上を確保しています。但し、予想外の大量緊急発注が生じた場合においてはこの限りではありません。			
	注文先	注文先	支店・営業所ごとに窓口を設置しています。				
	製造管理及び品質管理（GMP・GQP）体制	医薬品医療機器法の遵守状況① 自社又は第三者により、各品目に係る要求事項（承認事項等）の確認計画、実施率及び確認結果	2023年度 確認計画：23品目（全品目の77%） 確認結果：適合23品目、要改善0品目、不適合0品目 ※第三者により確認した品目数：0				
		医薬品医療機器法の遵守状況② 自社又は第三者による製造所（自社及び委託先）の確認計画、実施率及び確認結果	2023年度 確認計画：8製造所（全製造所の16%） 確認結果：適合8製造所、不適合0製造所 ※第三者により確認した製造所数：0				
		医薬品医療機器法の遵守状況について、経営層（薬事業務責任役員など）の確認日	確認年月日：2023年4月6日 確認結果：問題なし				
	安定供給体制の確保	「安定供給管理責任者」「安定供給責任者」を定め、安定供給マニュアルに基づき運用、自社又は第三者により点検を実施している。	「安定供給管理責任者」「安定供給責任者」を定め、「安定供給マニュアル」に基づき運用しています。				
	安定供給に必要な生産体制の確保	医薬品、原料、資材の在庫管理の責任者及び担当の有無と把握状況	生産及び在庫管理責任者を定め、「安定供給マニュアル」に基づき運用しています。				
		製造ラインのトラブルに対する回避対応マニュアルの有無と対応の内容	「安定供給マニュアル」に基づき、生産設備等維持管理しています。				
限界在庫量、安定供給警戒レベルの設定の有無（特に、供給量の非常に多い医薬品、自社のシェアが高い医薬品）		限界在庫量・安定供給警戒レベル4ヶ月としています。					
原薬製造所の管理体制		原薬製造所と品質取り決めを行うとともに、定期的な監査により原薬製造所での管理体制を確認しています。					
品切れ発生時の対応	品切れが発生した場合の手順の設定の有無 ・医療現場への迷惑を最小限にする体制となっているか ・再発防止策につなげているか	安定供給マニュアルの「品切れ等発生時の対応手順」に基づき対応します。 ・代替品等を含めた情報を医療機関等へ提供します。また、同一含量規格品を製造販売する他社に連絡し、協力要請をします。 ・品切れの原因を分析し、再発防止に努めます（原薬のダブルソース化など）。					
回収実績	回収実績（3年程度）		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
		クラスⅠ	0	0	0	0	
		クラスⅡ	0	0	0	0	
		クラスⅢ	0	0	0	0	
販売中止	販売中止の場合の情報提供	日本医師会疑義解釈委員会了承後に行うとともに、在庫消尽までに少なくとも3ヶ月の間を持って、医療機関等に情報提供を行います。					
	販売開始後7年以内に製造中止した品目数（名称変更は含まない）	販売中止品目数（直近5年間）	8品目				

安定供給体制等に関する情報

情報 収集 ・ 提供 体制 等	医療機関等への 情報提供	自社や業界団体のホームページへの掲載を含め、 資料請求への迅速な対応体制の確保 ・DI情報 ・電子添文 ・インタビューフォーム ・生物学的同等性試験、溶出試験データ ・安定性試験データ ・配合変化試験データ ・副作用データ ・患者用指導せん ・緊急安全性情報 ・「使用上の注意」改訂のお知らせ /等	くすりの相談窓口 (フリーダイヤル 0120-630-093 電話 06-6233-6085 土・日・祝日及び当社休日を除く 9:00~17:00、 ファクシミリ 06-6233-6087 にてお問い合わせや資料請求に対応しています) くすりの相談窓口での情報内容は、担当MRへ伝達され医療機関等への情報提供体制が確保されています。		
	学術部門	学術部門の連絡先	くすりの相談窓口	フリーダイヤル 0120-630-093 電話 06-6233-6085 土・日・祝日及び当社休日を除く 9:00~17:00	
		MRの訪問体制	MRが訪問できる体制を確保	MR数:160名(2024年3月31日現在)	
	安全性部門	安全性情報に係る緊急連絡体制	くすりの相談窓口にご連絡いただければ、該当部署が対応いたします。		
		安全管理部門の体制	安全管理部 5名(2024年3月31日現在)		
	供給等に関する 情報提供	医薬品目毎の採用実績に関する情報提供	個別にお問い合わせください。該当部署を通じて担当MRより回答させていただきます。		
	普及啓発活動	医療関係者に対するMR/学術部門等による説明会の実施状況(業界団体としての活動も含む)	自社研究所員、学術担当員、MRによる説明会を実施しています。		
		患者・国民向けの普及啓発活動の実施状況(業界団体としての活動も含む)	特に実施していません。		
都道府県協議会 への参画	都道府県協議会への活動に参加の有無(業界団体としての活動も含む)	日本製薬工業協会、関西医薬品協会及び兵庫県製薬協会に加盟しています。			
企業情報	株式上場	非上場です。			
	業務停止等の重大な行政処分の有無(5年以内)	ありません。			

大項目	中項目	情報提供項目	回答			
			流通経路	卸経由		
製造管理及び品質管理・安定供給体制・リスクマネジメント	流通経路	流通経路 ・卸経由か、販社経由か、直販か	流通経路	卸経由		
			取引先	全国の卸38社		
	納品体制	卸業者が納期を指定する場合に、当該指定納期に配送する体制の整備	発送締切前であれば、原則、全て対応しています。			
	適正在庫の確保	品切れ品目数	品切れ品目数（過去一年間）	0品目（2023年3月31日現在）		
		平均社内在庫・流通在庫	社内在庫、流通在庫の合計	平均4ヶ月以上を確保しています。但し、予想外の大量緊急発注が生じた場合においてはこの限りではありません。		
	注文先	注文先	支店・営業所ごとに窓口を設置しています。			
	製造管理及び品質管理（GMP・GQP）体制	医薬品医療機器法の遵守状況① 自社又は第三者により、各品目に係る要求事項（承認事項等）の確認計画、実施率及び確認結果	2022年度 確認計画：19品目（全品目の63%） 確認結果：適合19品目、要改善0品目、不適合0品目 ※第三者により確認した品目数：0			
		医薬品医療機器法の遵守状況② 自社又は第三者による製造所（自社及び委託先）の確認計画、実施率及び確認結果	2022年度 確認計画：9製造所（全製造所の21%） 確認結果：適合7製造所、不適合0製造所 ※第三者により確認した製造所数：0			
		医薬品医療機器法の遵守状況について、経営層（薬事業務責任役員など）の確認日	確認年月日：2022年4月7日 確認結果：問題なし			
	安定供給体制の確保	「安定供給管理責任者」「安定供給責任者」を定め、安定供給マニュアルに基づき運用、自社又は第三者により点検を実施している。	「安定供給管理責任者」「安定供給責任者」を定め、「安定供給マニュアル」に基づき運用しています。			
	安定供給に必要な生産体制の確保	医薬品、原料、資材の在庫管理の責任者及び担当の有無と把握状況	生産及び在庫管理責任者を定め、「安定供給マニュアル」に基づき運用しています。			
		製造ラインのトラブルに対する回避対応マニュアルの有無と対応の内容	「安定供給マニュアル」に基づき、生産設備等維持管理しています。			
限界在庫量、安定供給警戒レベルの設定の有無（特に、供給量の非常に多い医薬品、自社のシェアが高い医薬品）		限界在庫量・安定供給警戒レベル4ヶ月としています。				
原薬製造所の管理体制		原薬製造所と品質取り決めを行うとともに、定期的な監査により原薬製造所での管理体制を確認しています。				
品切れ発生時の対応	品切れが発生した場合の手順の設定の有無 ・医療現場への迷惑を最小限にする体制となっているか ・再発防止策につなげているか	安定供給マニュアルの「品切れ等発生時の対応手順」に基づき対応します。 ・代替品等を含めた情報を医療機関等へ提供します。また、同一含量規格品を製造販売する他社に連絡し、協力要請をします。 ・品切れの原因を分析し、再発防止に努めます（原薬のダブルソース化など）。				
回収実績	回収実績（3年程度）		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		クラスⅠ	0	0	0	0
		クラスⅡ	1	0	0	0
		クラスⅢ	0	0	0	0
販売中止	販売中止の場合の情報提供	日本医師会疑義解釈委員会了承後に行うとともに、在庫消尽までに少なくとも3ヶ月の間を持って、医療機関等に情報提供を行います。				
	販売開始後7年以内に製造中止した品目数（名称変更は含まない）	販売中止品目数（直近5年間）	該当なし			

安定供給体制等に関する情報

情報 収集 ・ 提供 体制 等	医療機関等への 情報提供	自社や業界団体のホームページへの掲載を含め、 資料請求への迅速な対応体制の確保 ・DI情報 ・電子添文 ・インタビューフォーム ・生物学的同等性試験、溶出試験データ ・安定性試験データ ・配合変化試験データ ・副作用データ ・患者用指導せん ・緊急安全性情報 ・「使用上の注意」改訂のお知らせ /等	くすりの相談窓口 (フリーダイヤル 0120-630-093 電話 06-6233-6085 土・日・祝日及び当社休日を除く 9:00~17:00、 ファクシミリ 06-6233-6087 にてお問い合わせや資料請求に対応しています) くすりの相談窓口での情報内容は、担当MRへ伝達され医療機関等への情報提供体制が確保されています。		
	学術部門	学術部門の連絡先	くすりの相談窓口	フリーダイヤル 0120-630-093 電話 06-6233-6085 土・日・祝日及び当社休日を除く 9:00~17:00	
		MRの訪問体制	MRが訪問できる体制を確保	MR数:177名(2023年3月31日現在)	
	安全性部門	安全性情報に係る緊急連絡体制	くすりの相談窓口にご連絡いただければ、該当部署が対応いたします。		
		安全管理部門の体制	安全管理部 3名(2023年3月31日現在)		
	供給等に関する 情報提供	医薬品目毎の採用実績に関する情報提供	個別にお問い合わせください。該当部署を通じて担当MRより回答させていただきます。		
	普及啓発活動	医療関係者に対するMR/学術部門等による説明会の実施状況(業界団体としての活動も含む)	自社研究所員、学術担当員、MRによる説明会を実施しています。		
		患者・国民向けの普及啓発活動の実施状況(業界団体としての活動も含む)	特に実施していません。		
都道府県協議会 への参画	都道府県協議会への活動に参加の有無(業界団体としての活動も含む)	日本製薬工業協会、関西医薬品協会及び兵庫県製薬協会に加盟しています。			
企業情報	株式上場	非上場です。			
	業務停止等の重大な行政処分の有無(5年以内)	ありません。			

大項目	中項目	情報提供項目	回答																						
			流通経路	卸経由																					
製造管理及び品質管理・安定供給体制・リスクマネジメント	流通経路	流通経路 ・卸経由か、販社経由か、直販か	流通経路	卸経由																					
			取引先	全国の卸38社																					
	納品体制	卸業者が納期を指定する場合に、当該指定納期に配送する体制の整備	発送締切前であれば、原則、全て対応しています。																						
	適正在庫の確保	品切れ品目数	品切れ品目数（過去一年間）	3品目（2022年3月31日現在）																					
		平均社内在庫・流通在庫	社内在庫、流通在庫の合計	平均4ヶ月以上を確保しています。但し、予想外の大量緊急発注が生じた場合においてはこの限りではありません。																					
	注文先	注文先	支店・営業所ごとに窓口を設置しています。																						
	製造管理及び品質管理（GMP・GQP）体制	医薬品医療機器法の遵守状況① 自社又は第三者により、各品目に係る要求事項（承認事項等）の確認計画、実施率及び確認結果	2021年度 確認計画：11品目（全品目の37%） 確認結果：適合11品目、要改善0品目、不適合0品目 ※第三者により確認した品目数：0																						
		医薬品医療機器法の遵守状況② 自社又は第三者による製造所（自社及び委託先）の確認計画、実施率及び確認結果	2021年度 確認計画：7製造所（全製造所の17%） 確認結果：適合7製造所、不適合0製造所 ※第三者により確認した製造所数：0																						
		医薬品医療機器法の遵守状況について、経営層（薬事業務責任役員など）の確認日	確認年月日：2021年3月24日 確認結果：問題なし																						
	安定供給体制の確保	「安定供給管理責任者」「安定供給責任者」を定め、安定供給マニュアルに基づき運用、自社又は第三者により点検を実施している。	「安定供給管理責任者」「安定供給責任者」を定め、「安定供給マニュアル」に基づき運用しています。																						
	安定供給に必要な生産体制の確保	医薬品、原料、資材の在庫管理の責任者及び担当者の有無と把握状況	生産及び在庫管理責任者を定め、「安定供給マニュアル」に基づき運用しています。																						
		製造ラインのトラブルに対する回避対応マニュアルの有無と対応の内容	「安定供給マニュアル」に基づき、生産設備等維持管理しています。																						
		限界在庫量、安定供給警戒レベルの設定の有無（特に、供給量の非常に多い医薬品、自社のシェアが高い医薬品）	限界在庫量・安定供給警戒レベル4ヶ月としています。																						
原薬製造所の管理体制		原薬製造所と品質取り決めを行うとともに、定期的な監査により原薬製造所での管理体制を確認しています。																							
品切れ発生時の対応	品切れが発生した場合の手順の設定の有無 ・医療現場への迷惑を最小限にする体制となっているか ・再発防止策につなげているか	安定供給マニュアルの「品切れ等発生時の対応手順」に基づき対応します。 ・代替品等を含めた情報を医療機関等へ提供します。また、同一含量規格品を製造販売する他社に連絡し、協力要請をします。 ・品切れの原因を分析し、再発防止に努めます（原薬のダブルソース化など）。																							
回収実績	回収実績（3年程度）	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クラスⅠ</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>クラスⅡ</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>クラスⅢ</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>					2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	クラスⅠ	0	0	0	0	クラスⅡ	0	1	0	0	クラスⅢ	0	0	0	0
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度																					
クラスⅠ	0	0	0	0																					
クラスⅡ	0	1	0	0																					
クラスⅢ	0	0	0	0																					
販売中止	販売中止の場合の情報提供	日本医師会疑義解釈委員会了承後に行うとともに、在庫消尽までに少なくとも3ヶ月の間を持って、医療機関等に情報提供を行います。																							
	販売開始後7年以内に製造中止した品目数（名称変更は含まない）	販売中止品目数（直近5年間）	該当なし																						

安定供給体制等に関する情報

情報 収集 ・ 提供 体制 等	医療機関等への 情報提供	自社や業界団体のホームページへの掲載を含め、 資料請求への迅速な対応体制の確保 ・DI情報 ・電子添文 ・インタビューフォーム ・生物学的同等性試験、溶出試験データ ・安定性試験データ ・配合変化試験データ ・副作用データ ・患者用指導せん ・緊急安全性情報 ・「使用上の注意」改訂のお知らせ /等	くすりの相談窓口 (フリーダイヤル 0120-630-093 電話 06-6233-6085 土・日・祝日及び当社休日を除く 9:00~17:00、 ファクシミリ 06-6233-6087 にてお問い合わせや資料請求に対応しています) くすりの相談窓口での情報内容は、担当MRへ伝達され医療機関等への情報提供体制が確保されています。		
	学術部門	学術部門の連絡先	くすりの相談窓口	フリーダイヤル 0120-630-093 電話 06-6233-6085 土・日・祝日及び当社休日を除く 9:00~17:00	
		MRの訪問体制	MRが訪問できる体制を確保	MR数:187名(2022年3月31日現在)	
	安全性部門	安全性情報に係る緊急連絡体制	くすりの相談窓口にご連絡いただければ、該当部署が対応いたします。		
		安全管理部門の体制	安全管理部 3名(2022年3月31日現在)		
	供給等に関する 情報提供	医薬品目毎の採用実績に関する情報提供	個別にお問い合わせください。該当部署を通じて担当MRより回答させていただきます。		
	普及啓発活動	医療関係者に対するMR/学術部門等による説明会の実施状況(業界団体としての活動も含む)	自社研究所員、学術担当員、MRによる説明会を実施しています。		
		患者・国民向けの普及啓発活動の実施状況(業界団体としての活動も含む)	特に実施していません。		
都道府県協議会 への参画	都道府県協議会への活動に参加の有無(業界団体としての活動も含む)	日本製薬工業協会、関西医薬品協会及び兵庫県製薬協会に加盟しています。			
企業情報	株式上場	非上場です。			
	業務停止等の重大な行政処分の有無(5年以内)	ありません。			

【様式3】、【様式3-2】

更新日：2025年1月7日

薬剤区分	薬価基準記載 医薬品コード	YJコード	製造販売業者	品名	規格	直近3年間の供給状況	余剰製造能力（製造余力）の種類 （有事が起きた際に対応可能な予備対応力の種類）	製造余力指数 （「向こう3か月以内にさらに追加で増産して供給できる量」の指標）	有事が起きた際に在庫放出の対応が可能か？	在庫指数 （3か月を1とした場合の比較）	在庫指数Dの理由
								※在庫放出分は除く。 ※Q列の値を反映 A：0.5以上 B：0～0.5 C：0 D：出荷停止中		※T列の値を反映 A：1.5以上 B：1～1.5 C：1 D：1未満	
内用薬	4490025R1020	4490025R1020	日本臓器製薬	オロパタジン塩酸塩ドライシロップ1%「日本臓器」	1%1g	③季節性	①生産ロット数を増加	C	①在庫放出可能	A	
内用薬	3999016F2029	3999016F2029	日本臓器製薬	メトトレキサート錠1mg「日本臓器」	1mg1錠	⑤横這い	①生産ロット数を増加	C	①在庫放出可能	A	
内用薬	3999016F1014	3999016F1081	日本臓器製薬	メトトレキサート錠2mg「日本臓器」	2mg1錠	①増加傾向	①生産ロット数を増加	C	①在庫放出可能	A	
内用薬	4490026F1010	4490026F1303	日本臓器製薬	モンテルカストチュアブル錠5mg「日本臓器」	5mg1錠	②減少傾向	⑤製造余力無し	D	①在庫放出可能	D	③その他（備考欄に記入）
内用薬	4490026F3330	4490026F3330	日本臓器製薬	モンテルカストナトリウム錠5mg「日本臓器」	5mg1錠	②減少傾向	⑤製造余力無し	D	①在庫放出可能	D	③その他（備考欄に記入）
内用薬	4490026F2350	4490026F2350	日本臓器製薬	モンテルカストナトリウム錠10mg「日本臓器」	10mg1錠	②減少傾向	⑤製造余力無し	D	①在庫放出可能	D	③その他（備考欄に記入）
内用薬	4490028R1066	4490028R1066	日本臓器製薬	レボセチリジン塩酸塩ドライシロップ0.5%「日本臓器」	0.5%1g	③季節性	①生産ロット数を増加	C	①在庫放出可能	A	

【様式4】、【様式4-2】

更新日：2025年1月7日

薬剤区分	薬価基準取載 医薬品コード	YJコード	製造販売業者	品名	直近3年間の供給状況	2021年度 供給実績数量	2022年度 供給実績数量	2023年度 供給実績数量	(参考) 初年度の10%に 相当する量	2025年1月 度更新分					
										供給計画に対する実績の指数	供給計画に対する実績の指数	供給計画に対する実績の指数	供給計画に対する実績の指数	供給計画に対する実績の指数	供給計画に対する実績の指数
										2024年7月	2024年8月	2024年9月	2024年10月	2024年11月	2024年12月
内用薬	4490025R1020	4490025R1020	日本臓器製薬	オロパタジン塩酸塩ドライシロップ1%「日本臓器」	③季節性	1,780,375	2,233,675	2,726,575	178,038	0.7	0.8	0.6	1.2	1.2	1.4
内用薬	1149117F1012	1149117F1225	日本臓器製薬	トアラセット配合錠「日本臓器」	①増加傾向	1,000,100	1,725,700	1,822,200	100,010	1.0	1.0	1.0	1.2	1.0	1.2
内用薬	4490028R1066	4490028R1066	日本臓器製薬	レボセチリジン塩酸塩ドライシロップ0.5%「日本臓器」	③季節性	643,850	1,365,450	1,102,500	64,385	0.7	0.6	0.4	0.6	0.8	0.9
内用薬	3999016F2029	3999016F2029	日本臓器製薬	メトトレキサート錠1mg「日本臓器」	⑤横這い	-	-	6,672	667	0.7	1.3	0.5	1.1	0.9	0.9
内用薬	3999016F1014	3999016F1081	日本臓器製薬	メトトレキサート錠2mg「日本臓器」	①増加傾向	83,884	145,740	171,484	8,388	1.2	1.2	1.1	1.5	1.2	1.3
外用薬	1329707Q4016	1329707Q4032	日本臓器製薬	フルチカゾンプロピオン酸エステル点鼻液50μg「日本臓器」112噴霧用	③季節性	70,016	86,540	75,468	7,002	0.5	0.4	0.5	0.9	0.8	1.3
外用薬	3339950R1169	3339950R1169	日本臓器製薬	ヘパリン類似物質外用泡状スプレー0.3%「日本臓器」	①増加傾向	269,095,000	276,123,200	282,013,000	26,909,500	1.0	0.8	0.8	1.0	1.0	1.5
外用薬	2649734N1011	2649734N1046	日本臓器製薬	ジクロフェナクNaクリーム1%「日本臓器」	⑤横這い	14,663,500	14,480,250	14,115,750	1,466,350	1.1	0.9	0.9	1.2	0.9	1.1
外用薬	2649734S1015	2649734S1120	日本臓器製薬	ジクロフェナクNaテープ15mg「日本臓器」	⑤横這い	2,312,030	2,203,810	2,014,810	231,203	0.8	0.7	0.7	1.1	0.8	0.9
外用薬	2649734S2127	2649734S2127	日本臓器製薬	ジクロフェナクNaテープ30mg「日本臓器」	⑤横這い	5,802,510	5,787,180	5,572,980	580,251	1.1	0.8	0.8	1.1	0.9	1.1
外用薬	2649734S3018	2649734S3069	日本臓器製薬	ジクロフェナクNaパップ70mg「日本臓器」	⑤横這い	222,670	227,430	223,510	22,267	2.0	1.7	1.4	2.4	1.7	1.6
外用薬	2649734S4065	2649734S4065	日本臓器製薬	ジクロフェナクNaパップ140mg「日本臓器」	⑤横這い	1,375,080	1,360,730	1,278,690	137,508	1.7	1.4	1.3	2.4	1.6	1.6
外用薬	2655709R1039	2655709R1039	日本臓器製薬	ケトコナゾール外用ポンプスプレー2%「日本臓器」	⑤横這い	670,400	601,750	565,500	67,040	1.1	1.1	0.9	1.3	1.0	1.5